

With コロナ時代の健康管理

はじめに

2020年2月にクルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号でのコロナウイルス感染拡大が報道されてから早9ヵ月がたちましたが、今なおコロナウイルス関連の話題が、トップニュースとして連日報道されています。With コロナ時代に、自分の健康管理をどうおこなっていくのか悩ましいところだと思います。

健康診断、がん検診について

労働者の健康診断は、労働安全衛生法に基づく法的義務として実施されています。がん検診は、がん対策基本法によって推進されています。健康診断が心臓病や脳卒中の予防に役立ち、がん検診ががんの早期発見に効果的であることは、周知の事実だと思います。しかし、死亡リスクの減少を証明することは難しいとされています。理由としては、受診者の年齢層が幅広く、10年のフォローアップでは死亡リスクへの影響を評価できないことが考えられます。

泌尿器科で扱う前立腺がんに関しては、10~20年間の長期フォローアップの結果に基づき、がん検診による死亡リスクの減少が証明されています。春日井市では、50歳以上の男性を対象として前立腺のがん検診(血液検査)も行われています(600円の自己負担金がかかります)。

健康管理の実践

日本総合健診医学会と全国労働衛生団体連合会の調査によると、2020年1月から9月の健康診断受診者数は1400万人で、前年の2100万人と比較

泌尿器科
部長
黒川 覚史



して700万人減少したとされています。5月に緊急事態宣言が解除され、社会活動も再開しつつありますので、そろそろ健康診断やがん検診の受診を再開してもよさそうだと思います。

しかし、まだまだ医療機関への受診がご心配な方は、がんになるリスクを4割減らせることのできる5つの健康管理(右図)を実践していただければと思います。



がん治療

早期がんから進行がんの患者さんまで幅広く治療をさせていただいております。がん検診でみつかった早期がんの患者さんに対しては、できるだけ低侵襲な治療法を提供したいと考えております。

低侵襲治療として、「ダヴィンチXi」を用いた内視鏡手術を提案させていただくことがあります。当科では、黒川、野崎の2名がダヴィンチ手術の執刀認定資格を取得しております。

より幅広い患者さんのニーズに応えられるよう、今後も努めてまいります。

